



日時	タイトル名	場所・座席	料金	チケット 発売場所	未就 学児
5/15 (日) 開演 11:30 (開場 11:00)	京フィル・親と子の管弦楽コンサート 「だがつきであそぼう」 ～うたって!おどって!楽しいね! 15周年～	小ホール 全席指定	おとな 2,000 円 子ども 1,000 円 (2歳～小学生) ※2歳未満は膝上での鑑賞無料	発売中 ☎ ☐ e+	○
今年のテーマは打楽器です。打楽器奏者のこっしーおにいさんが大活躍します。 出演：京都フィルハーモニー室内合奏団、西村 かおり (うた・おはなし)					
5/27 (金) 開演 19:00 (開場 18:30)	金曜トークサロン第 25 回記念 ～会いたい・知りたい・つながりたい～	レセプションホール 全席自由	1,000 円	発売中 ☎	×
大和の古代ロマン・尽させぬ想い ～藤ノ木古墳・大安萬侶墓・法隆寺・唐招提寺・・・発掘現場うら話し～ ゲスト：前園 実知雄さん (考古学者、奈良芸術短期大学教授・橿原考古学研究所特別指導研究員・真言豊山派法蓮寺住職) 聞き手：松本 真理子 (マリンバ奏者・大和郡山市音楽芸術協会会長・やまと郡山城ホールアドバイザー)					
6/5 (日) 開演 16:00 (開場 15:30)	45th Anniversary イルカほのぼのコンサート	大ホール 全席指定	4,500 円	発売中 ☎ ☒ ☐ e+	×
45周年のアニバーサリーに温もりあふれる歌声をとどけます。出演：イルカ 曲名：「なごり雪」ほか					
7/2 (土) 開演 15:00 (開場 14:30)	やまと郡山城ホール 歌声喫茶 ～心に残るあなたの思い出～	大ホール 全席自由	500 円 ※開場内での飲食不可	発売中 ☎ ☐ e+	×
昔懐かしい歌声喫茶を大ホールに再現。思い出の歌を客席のみなさんと大合唱しましょう。 出演：案内人 (第1部) 大原 末子、岸 俊昭、(第2部) 重竹 宣恵 番野 公夫 (ピアノ)					

※チケット欄の記号=発売場所 ☎：やまと郡山城ホール窓口 ☒：チケットぴあ ☐：ローソンチケット e+：イープラス

お知らせ 5月6日(金)は、やまと郡山城ホール(文化会館・武道場)のみ臨時開館します。

本来5月3日(火・祝)の振替休館日にあたりますが、休まず通常どおり開館します。(ただし、市立図書館は館内整理日のため休館)
◆やまと郡山城ホール(文化会館) 9:00～21:30 ◆やまと郡山城ホール(武道場) 9:00～21:00 ◆市立図書館 休館



市長てくてく城下町 134

大和郡山に少女歌劇があった 大和郡市長 上田 清

今年で13回目を迎えた「大和郡山盆梅展」は開幕から好調で、最終的には15,000人近い方々に来場いただき、大盛況のうちに終了しました。

一方「大和な雛まつり」も「応援隊」の熱意により規模も当初の倍近くになるとともに、各会場でのミニコンサートも大賑わいでした。

そうしたなか柳町の菊寿亭では『日本少女歌劇座展～大和郡山に少女歌劇があった～』が開催されたのですが、ほとんど忘れ去られようとしていた郡山の貴重な歴史に驚き、感動しました。

というのも、1914(大正3)年、宝塚少女歌劇団の誕生をきっかけに全国各地で少女歌劇団が結成され、ここ大和郡山にもあったというのです。

その名も『日本少女歌劇座』。展示会のチラシには「昭和初めの大和郡山に花開いたモダンな少女文化に思いをはせていただきたい。」

『日本少女歌劇座』は「島興業社」が運営し、拠点の劇場は持たず全国を巡回する経営戦略で人気を博し、戦前は台湾など海外公演も行っていました。昭和30年代には、姿を消したようです。

展示会では、1928(昭和3)年に行われた巡業公演が、日本地図とともに紹介されていました。

それによれば一座は正月早々、長崎を皮切りに、九州から四国、中国、近畿、東海、関東、東北、そして北海道を一周した後、9月からは逆に東北、関東を経て北陸へ。そして最後は年末の姫路公演と丸一年、ほとんど休みなしで全国を回ったというのです。総勢約70名の一行は鉄道を利用して移動。テレビなどない時代、華やかな舞台に人々は魅了されたことでしょう。

少女歌劇座について何かご存知の方、あるいは当時の資料をお持ちの方はご一報ください。

